

好きを持ち寄りワクワク形に

○：「障害か個性かは、和学園がオープンするカフェやブルーベリーのほか、地
捉え方次第。美味しいご飯 エ「湘南リトルツリー」の元の食材を使用したホット
が、障害のある方を知るき 切り盛りを夫婦で任され ケーキやサンドイッチ、フ
っかけになれば」。多様性と た。カフェでは、進和学園 ルーツサンドなどを提供。
調和の空間をテーマに、進 知的障害者が作ったパン 店舗運営が軌道に乗ったら

人物風土記



●ともしびショップ湘南平の喫茶部門
「湘南リトルツリー」を運営する

大矢野 亜裕美さん

北金目在住 32歳

福祉施設とさらに連携を深
め、店頭での商品販売や、
障害者をスタッフとして採
用することで就労支援の場
につなげることを目指す。
○：東京都出身。持ち前
のリーダー気質で学習院大
学では音楽部の総務委員長
として団員約200人を率
いた。高校生の時に4歳離
れた弟が知的障害を抱えて
いることを知り、「彼らの力
になりたい」という使命感が
こみ上げてきた。大学卒業
後、障害者の就労を支援す
る福祉系企業で経験を積ん
だが、27歳で独立。チラシ
やWebバナーを作るデザ
イナーとして新たな一步を
踏み出した。
○：進和学園は大学OG
の紹介で知った。商品の魅
力を誠実に伝えるデザイン
が買われ、学園名物のトマ
トジュースのラベルも手掛
追いかけている。

「と持論を語り、「店舗
」だけではなく湘南平全体を
盛り上げられるように、も
っとワクワクを形にしたい」
と、カフェを舞台に理想を

○：「障害の有無に関わ
らず、みんなで手を取り合
いながらできることを持ち
寄って、より良いものを作
ることが本当のバリアフリ
ー」と持論を語り、「店舗

公私のパートナーと二人三
脚での挑戦にも、「私が大胆
で、彼が繊細な性格。考え
が行き詰まっても互いに意
見を出し合えば解決でき
る」と声を弾ませる。カフ
エ運営を機に、北金目に移
住して5カ月。「平塚はなに
もないと聞くけど、海や山
川に囲まれた豊かな自然と
優しい地域の方々がいる。
魅力がありすぎて気が付い
ていないだけ」とほほえむ。